

治験を実施しています



現在、開発中の医薬品の候補（治験薬）を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 慢性血栓塞栓性肺高血圧症
- 肺癌
- 全身性強皮症を伴う間質性肺炎
- 糖尿病性末梢神経障害
- 多発性骨髄腫
- 悪性リンパ腫
- 骨髄異形成症候群
- 腎癌
- 前立腺癌
- 尿路上皮癌
- 子宮頸癌
- 多発性骨髄腫
- 脳卒中後上肢痙縮
- 脳卒中後下肢痙縮
- 食道癌
- 過活動膀胱
- 神経因性排尿筋過活動
- 掌蹠膿疱症
- 特発性肺繊維症
- 術後疼痛



問合せ：
臨床試験管理センター
tel.088-633-9294

ちけん君は
日本医師会治験促進センターの
キャラクターです。

病院のお仕事いろいろ



退院後の生活を見据えた
脳卒中看護に取り組む

脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師（脳卒中センター）

野崎夏江（のざき・なつえ）さん
看護師

野崎さんは、石川県の病院の循環器・脳神経外科の病棟で働いている時に「もっと患者さんの回復に役立てるよう知識をつけたい」との意志を持ち、認定看護師の取得を目指しました。認定看護師の資格を取ってからは、自分の知識や技術を向上させることだけでなく、周りのスタッフへの指導を行うことを意識するようになりました。その後、上級の資格である専門看護師の資格取得を目指すため、徳島大学大学院へ進学し、徳大病院で働くことを選びました。配属された脳卒中センター（以下、SCU）で以前の病院とは異なることは、重度の患者さんが救急車から直接運ばれてくることです。少しでも早く処置に取りかかることは脳卒中の治療にとって重要です。また、医師からの離床（横臥から座位、立位、歩行へ）の指示がとても早いことに驚きました。SCUでは専属の理学療法士によるリハビリテーション（以下、リハ）が行われ、早期離床を目指しています。SCU看護師として、早期離床は患者さんへの負担も大きいいため、血圧や体温など身体全体の状態を把握し、リハを行ってよいかの判断を行っています。退院を目指すことだけでなく、その後の生活のために、患者さんやご家族がリハに積極的に取り組んでもらえるよう、早期離床の必要性を説明し、環境を整えています。今後の抱負について、「患者さんを中心とした周りの人々や環境のことを急性期から考えて看護を行うよう同僚に指導を行っていきたい。」とお話いただきました。